

【会員通信】

20 年目を迎える「南予生物教育談話会」

辻 幸一

2009 年 2 月 14 日土曜日に、愛媛県立八幡浜高校の生物実験室において第 39 回南予生物教育談話会が開催された。この談話会は今年で 20 年目(40 回)を迎える。そこで、この機会に発会のいきさつや実施状況などについて紹介したい。

「南予生物教育談話会」とは、地域の生物教育に関心を持った教育関係者が自主的に集まって、生物教育について語り合うという趣旨の集まりである。今から 19 年前の 1990 年 3 月に、当時宇和島南高校勤務であった橋越清一教諭が発起人となって、生物の話題提供や情報交換のできる場を作ろうと、宇和島市内の高校教師に呼びかけて始まった。第 1 回の開催は宇和島南高校の生物教室で、参加者は、橋越教諭の他に金子俊彦教諭(宇和島南高校：当時、以下同じ)、横山素也教諭(津島高校)、筆者(宇和島東高校)の 4 名であった。会が発足してしばらくの間は参加者は高校の生物教員だけで、10 名前後であった。その後、宇和島市内の小・中学校の理科の先生や短期大学にも声をかけていき、しだいに参加者が増えていった。

この談話会は、Ⅰ部として、数名の参加者がテーマを決めて話題提供(研究発表)を行って質疑応答を行い、その後、Ⅱ部として会場を移して懇親会を行うという形で開催されている。発表者は自分が興味を持っていることや、学校で実践しているテーマなどを参加者の前で気軽に発表し、意見交換をしている。その後、生物教育や自然環境問題などについての情報交換を行っている。第 35 回からは、Ⅰ部で野外観察会を行い、Ⅱ部で話題提供、Ⅲ部で懇親会を実施している。

談話会の担当は原則として宇和島市内の 3 高校(宇和島東高校・宇和島南高校・宇和島水産高校)の持ち回りとして各高校を会場にして実施してきたが、南宇和郡愛南町西海の民宿(翌朝、高茂岬でサシバの渡りを観察)、県立歴史博

物館(西予市宇和町)、宇和高校、愛媛女子短期大学(第 33 回：宇和島市)、大洲高校(第 34 回)でそれぞれ開催したこともある。第 35 回～38 回は宇和島東高校で実施し、第 39 回は八幡浜高校で実施した。

開催時期は、毎年 9 月と 2 月頃の 2 回で、今日まで途切れることなく続いている。学校週休 2 日制度になる前は、談話会を土曜の午後に設定し、会場校の生物教室に集まり、その後会場を移して懇親会をするというパターンであった。週休 2 日制になってからは、休日(土曜・日曜)の午後に実施するようになった。

この会の名称は、開始当初は「宇和島生物教育談話会」であったが、年を追うごとに参加者が南予一円に広がり、最近では松山の高校や大学からの参加も増えてきたため、途中から「南予生物教育談話会」と変更した。

ここで、第 33 回から 39 回までの最近の 7 回分の実施内容を紹介する(表 1)。

第 33 回南予生物教育談話会は、2006 年 2 月 19 日日曜日に宇和島の愛媛女子短期大学で開催された。短期大学の古川一実講師が世話役を担当し、生化学実験室を会場として実施した。参加者は、中予からの高校教員 5 名と愛媛大学と広島大学からの計 3 名の先生を含めて計 19 名であった。話題提供は 7 題で、生物の様々な分野の内容が発表された。その中でも、毛利俊樹先生による 100 種類のクモ類の紹介と、広島大学の山内健生氏による魚類寄生虫「ウオノエ」の話は、参加者にとって大変興味深い内容であった。

第 34 回は、2006 年 9 月 30 日土曜日に大洲で開催された。会場は大洲高校の生物実験室で、大学生 4 名と高校生 2 名を含む 29 名が参加した。5 題の話題提供の後に筆者が肱川の魚類について紹介した(図 1)。懇親会は、地元大洲市の秋の風物詩となっている肱川河原での「いもたき」に設定した。秋の夜風に吹かれて、郷土料理の

「いもたき」の鍋を囲んで、話も弾み、いつも増して楽しい時間を過ごすことができた。この懇親会には、愛媛大学教育学部の女子学生が4名参加しており、教育学部の研究活動の様子を聞くことができた。

第35回は、2007年3月3日土曜日に開催された。Ⅰ部の野外観察会では、宇和島市三浦半島の水荷浦地区の段々畑で石垣と畑地の植物観察を行った。Ⅱ部の談話会は宇和島東高校の生物実験室で実施し、過去最高の32名が参加し、7題の話題提供があった。その年の3月末で定年退職を迎える宇和島東高校の金子俊彦教諭により、赴任校における生物部での課題研究への取り組みについての発表があった。日本学生科学賞に何度も入賞している研究について、どのように生徒たちを指導していくのか、どのような着眼点で研究を進めていくのかなど、長年の経験を語ってもらった。参加者一同、金子先生の研究に対する熱い情熱を感じることができ、若い教員の参考になった。また、宇和島水産高校の山木 勝教諭が、魚類の耳石について紹介し、その後、実際にタイの耳石を取り出す実習を行った。参加者全員、耳石を見るのは初めての経験で、この小さな耳石から多くの情報を得られることに驚き、大変好評であった。

第36回は2007年9月15日土曜日に開催された。Ⅰ部は午前中に鬼ヶ城山系の黒尊スーパー林道へ出かけて行き、若山教諭の指導によりアサギマダラのマーキング実習を行った。Ⅱ部は会場を宇和島東高校の生物実験室に移して、6題の話題提供を中心に意見交換を行った。参加者はⅠ部10名、Ⅱ部15名、Ⅲ部14名であった。

第37回は2008年3月2日日曜日に開催された。Ⅰ部は、宇和島市津島町の日本庭園「南楽園」でバードウォッチングを行った。Ⅱ部は会場を宇和島東高校の生物実験室に移して4題の話題提供と情報交換を行った。この時は実施日が県立高校の卒業式の翌日であったため、参加者が13名と少なかった。

第38回は2008年9月20日土曜日に開催された。Ⅰ部は黒尊スーパー林道へ出かけて行き、アサギマダラのマーキングとバードウォッチングを行った。Ⅱ部は会場を宇和島東高校の生物実験室に移して、4題の話題提供を中心に意見

交換を行った(図2)。今回は、愛媛大学教育学部から2名の先生が参加され、それぞれ話題提供があった。この日も秋の運動部の新人大会などと日程が重なったため参加者は13名と少なかった。

第39回は、2009年2月14日土曜日に開催された。Ⅰ部は午前中に八幡浜市諏訪崎へ出かけて行き、植物観察とバードウォッチングを行った。Ⅱ部は会場を八幡浜高校の生物実験室に移して、7題の話題提供を中心に意見交換を行った。今回も前回に引き続き愛媛大学教育学部から2名の先生が参加されて、それぞれ話題提供があった。また、宇和島水産高校の生徒2人(3年生と専攻科2年生)による課題研究の発表が行われた。参加者はⅠ部11名、Ⅱ部23名、Ⅲ部16名であった。

毎回、参加者は研究発表を聞きながら自由に質問を交わし、情報交換では各校の実情や指導上の問題点を出し合い、懇親会では気軽に会話を楽しみ、若い教員とベテラン教員の交流の場になっている。また、この会は大学や短大の先



図1 第34回談話会(2006年9月30日)の様子
(発表者は筆者)



図2 第38回談話会(2008年9月20日)の様子
(発表者は橋越教諭)

生方との交流の場としても貴重な機会を提供している。特に南予地区の高校教員が、愛媛大学と愛媛女子短期大学の先生方との交流ができたことは、大学進学指導の参考となったり、公開実験講座に毎年参加するきっかけとなったりして、大変有意義であった。

愛媛県の高校教員は、毎年12月に松山市で開催される愛媛県高等学校教育研究会理科部会に各校の代表者が参加している。その中の生物部門会では、南予地区から1～2名の教員が研究発表を行っている。この研究発表の担当になった教員には、南予生物教育談話会で同じ内容を先に発表して、参加者から意見を聞いたり改善点を見つけたりするための良い練習の場となっ

ている。

毎回この自主的な談話会への参加者が多く、何年にもわたって続いているということは、地域の生物教育や環境教育に熱心な先生が多いということの証明であろう。今後とも、このような価値のある会が継続していくことを願っている。

(南予生物 15 : 60-64, 2009 年 2 月 17 日受付)

連絡先 辻 幸一 (〒 895-0081 大洲市菅田町菅田甲 1131-1 e-mail : tuzihaze@cnw.ne.jp.)

表 1 南予生物教育談話会 実施内容

第 33 回 2006 年 2 月 19 日 日曜日

I 部 14:00 ～ 16:30 愛媛女子短期大学 生化学実験室

- | | | |
|--------------------------------|----------------|------|
| ・南予のクモ類 100 種 | 三瓶高校 | 毛利俊樹 |
| ・魚類寄生虫ウオノエの世界 | 広島大学大学院国際協力研究科 | 山内健生 |
| ・生命科学カリキュラム例 | 愛媛女子短期大学 | 古川一実 |
| ・日本生物教育学会の研究発表内容 | 愛媛大学教育学部 | 渡邊重義 |
| ・光合成の実験の研究例 | 北条高校 | 鳥谷哲也 |
| ・内平川(来村川支流)のギンブナのクローン集団と遺伝的近交度 | 宇和島水産高校 | 山木 勝 |
| ・極限環境微生物 | 松山南高校 | 中川和倫 |

II 部 17:00 ～ 20:00 懇親会

第 34 回 2006 年 9 月 30 日 土曜日

I 部 14:00 ～ 17:00 愛媛県立大洲高校 生物実験室

- | | | |
|-------------------------|----------------|------|
| ・ツチガエルにおける性染色体の分化過程について | 愛媛女子短期大学 | 村上貴弘 |
| ・広島県教材生物バザールの紹介 | 愛媛大学教育学部 | 渡邊重義 |
| ・宇和島市のマダニ類 | 広島大学大学院国際協力研究科 | 山内健生 |
| ・カキの受精と初期発生 | 宇和島水産高校 | 若山勇太 |
| ・専攻科の課題研究の紹介 | 宇和島水産高校 | 山木 勝 |
| ・肱川の魚 | 大洲高校 | 辻 幸一 |

II 部 17:30 ～ 20:30 懇親会 肱川河原で「いもたき」

第 35 回 2007 年 3 月 3 日 土曜日

I 部 9:30 ～ 12:00 野外観察会 宇和島市水荷浦(三浦半島)

段々畑の植物観察, バードウォッチング

II 部 14:00 ～ 17:30 宇和島東高校生物教室

- | | | |
|-----------|--------|------|
| ・課題研究の在り方 | 宇和島東高校 | 金子俊彦 |
|-----------|--------|------|

・四国南西部におけるアサギマダラの標識調査報告 2006	宇和島水産高校	若山勇太
・硬骨魚類の耳石について・実習	宇和島水産高校	山木 勝
・松山市石手川と小野川におけるナノハナの分布	愛媛大学教育学部	渡邊重義
・ヨシノボリ 2 種の種間競争と資源分割	北宇和高校	曾根 伸
・八幡浜市大宝寺の植物・他	伊予高校	川本昌宏
・御荘湾の動物プランクトン	南宇和高校	大本将人
Ⅲ部 18:00 ～ 20:00	懇親会	

第 36 回 2007 年 9 月 15 日土曜日

Ⅰ部 9:00 ～ 12:00	野外観察会 黒尊スーパー林道（鬼ヶ城山系） アサギマダラのマーキング講習会とバードウォッチング	
Ⅱ部 14:00 ～ 17:00	宇和島東高校生物実験室	
・動物園と生物教育	愛媛大学教育学部	渡邊重義
・愛媛のヒナインドジョウの紹介	大洲高校	辻 幸一
・アマゴのモザイク模様の倍数体	宇和島水産高校	山木 勝
・日本生物教育会全国大会参加報告	宇和島東高校	若山勇太
・高教研理科部会生物部門研究委員としての活動	北条高校	鳥谷哲也
・サシバの渡り～概要と今後～	宇和島東高校	橋越清一
Ⅲ部 17:30 ～ 20:30	懇親会	

第 37 回 2008 年 3 月 2 日日曜日

Ⅰ部 9:00 ～ 12:00	野外観察会 宇和島市津島町「南楽園」 バードウォッチング	
Ⅱ部 14:00 ～ 17:00	宇和島東高校生物実験室	
・生物教材に関する情報提供	愛媛大学教育学部	渡邊重義
・栽培漁業系学科における HACCP の教材化	宇和島水産高校	山木 勝
・RNA がおもしろい	宇和島東高校	若山勇太
・南楽園の生物	宇和島東高校	橋越清一
Ⅲ部 17:30 ～ 20:30	懇親会	

第 38 回 2008 年 9 月 20 日土曜日

Ⅰ部 9:00 ～ 12:00	野外観察会 黒尊スーパー林道（鬼ヶ城山系） アサギマダラのマーキングとバードウォッチング	
Ⅱ部 14:00 ～ 17:00	宇和島東高校生物実験室	
・シダの前葉体の簡易培養法の紹介	愛媛大学教育学部	渡邊重義
・ツルボの染色体	愛媛大学教育学部	日詰雅弘
・第 10 回中国・四国・九州地区理数科課題研究発表大会参加報告	宇和島東高校	若山勇太
・西予市宇和町山田池の生物	宇和島東高校	橋越清一
Ⅲ部 17:30 ～ 20:30	懇親会	

第 39 回 2009 年 2 月 14 日土曜日

Ⅰ部 9:00 ～ 12:00	野外観察会 八幡浜市諏訪崎 植物観察とバードウォッチング
Ⅱ部 14:00 ～ 17:00	八幡浜高校生物実験室

・ トルイジンブルーを用いた維管束の観察	愛媛大学教育学部	渡邊重義
・ 八幡浜市千丈川河口の魚類	大洲高校	辻 幸一
・ イヌビワと昆虫	八幡浜市	毛利俊樹
・ RAPD-PCR 法による宇和島市のギンブナ三倍体のクローン組成	宇和島水産高校 3 年	谷岡義治
・ ハゼ亜目魚類における耳石の形態形質による系統分類	宇和島水産高校専攻科 2 年	椎名雅人
・ 来年度の課題研究のテーマ	宇和島東高校	若山勇太
・ メンデル遺伝の教材について	愛媛大学教育学部	日詰雅弘

Ⅲ部 17:30 ～ 20:30 懇親会
